



## 平成29年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年5月9日

上場会社名 株式会社メディネット 上場取引所 東  
 コード番号 2370 URL http://www.medinet-inc.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 木村 佳司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 宮本 宗 TEL 045-478-0041  
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年9月期第2四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	893	△3.6	△1,036	—	△976	—	△991	—
28年9月期第2四半期	926	7.4	△739	—	△778	—	△791	—

(注) 包括利益 29年9月期第2四半期 △768百万円 (—%) 28年9月期第2四半期 △680百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	△10.70	—
28年9月期第2四半期	△8.78	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	6,907	5,162	74.1
28年9月期	7,646	5,931	77.0

(参考) 自己資本 29年9月期第2四半期 5,117百万円 28年9月期 5,886百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,250	17.9	△1,967	—	△1,951	—	△1,961	—	△21.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期2Q	92,678,009株	28年9月期	92,678,009株
② 期末自己株式数	29年9月期2Q	一株	28年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期2Q	92,678,009株	28年9月期2Q	90,133,100株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

・当社は、平成29年5月23日（火）に機関投資家及び証券アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、決算説明資料については、東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）にも掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報) .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当社グループの事業環境

2012年、京都大学の山中伸弥教授がヒトiPS細胞を発見し、ノーベル生理学・医学賞を受賞したことを契機として、再生・細胞医療分野の健全な発展への機運が高まり、2014年11月に再生・細胞医療を、より安全により早く患者に届けることができる、新たな2つの法的枠組みが設けられました。「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」により、これまでは医療機関のみが許されていた細胞加工について、特定細胞加工物製造許可を取得した企業が細胞加工を受託できるようになりました。また、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」によって、従来の医薬品、医療機器とは別に「再生医療等製品」という新たなカテゴリーが新設され、安全性が確保され効果が推定されれば、条件・期限付きで早期に承認される仕組みが導入されました。

これらの新たな法律・規制の枠組みの下、当社グループは、これまでに17万件以上の細胞加工実績で培ってきた様々なノウハウ・経験を集約した細胞培養加工施設を羽田空港に近い品川に設置し、再生・細胞医療に取り組む製薬企業、大学、医療機関/研究機関等から、特定細胞加工物や再生医療等製品の製造を受託するべく、細胞加工業やCDMO事業の更なる拡大を図っております(図1)。また、更なる収益拡大を目指し、再生・細胞医療のバリューチェーンを事業化し、再生・細胞医療のコンサルティング、細胞培養加工施設の運営管理、細胞加工技術者の派遣・教育システムの提供等を行っております(図2)。細胞医療製品事業においては、条件・期限付きの承認制度を活用し、細胞医療製品(再生医療等製品の一つ)の製造販売承認を早期に取得するべく準備を進めております。

図1. 再生・細胞医療に関連する法整備により変化したビジネスモデル

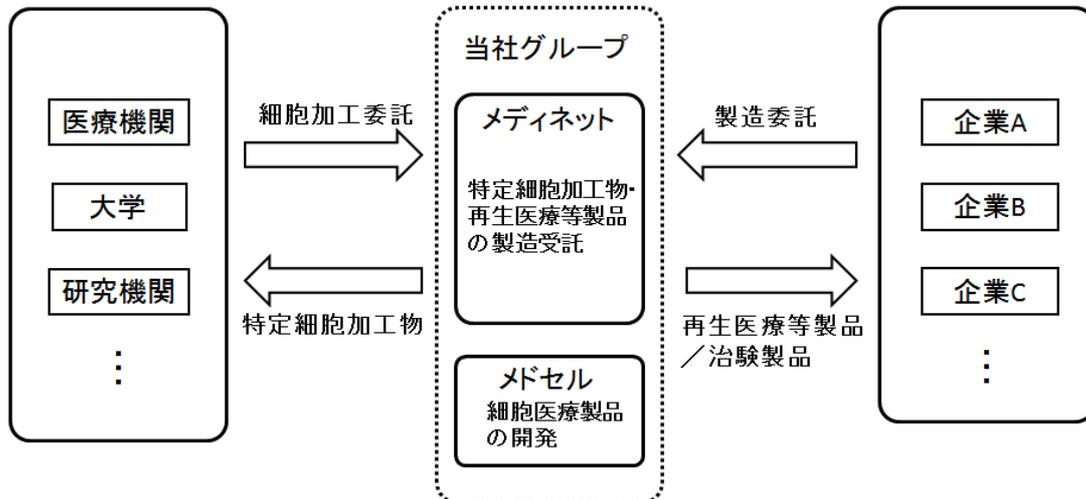
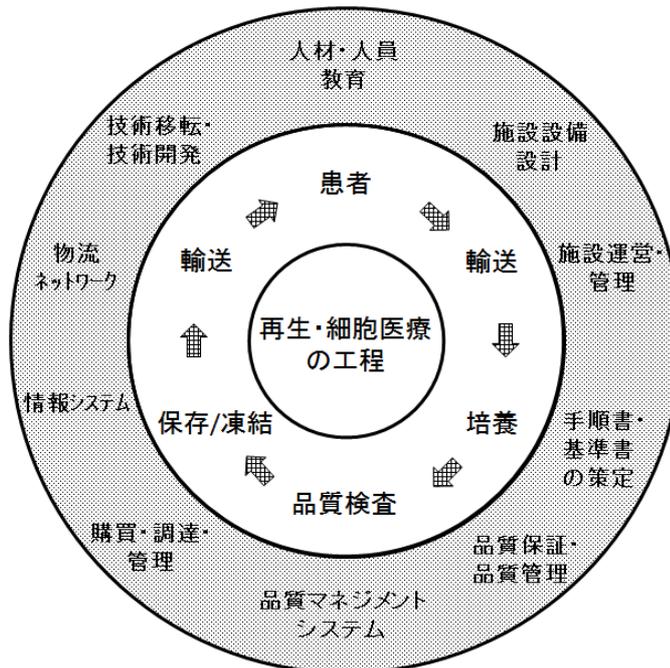


図2. 再生・細胞医療のバリューチェーン



②売上高・損益

(金額単位：百万円)

	売上高	営業損失(△)	経常損失(△)	親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	1株当たり 四半期純損失 金額(△)
当第2四半期 連結累計期間	893	△1,036	△976	△991	△10.70円
前第2四半期 連結累計期間	926	△739	△778	△791	△8.78円
増減率(%)	△3.6	—	—	—	—

売上高は893百万円となり、前年同期に比べ33百万円減少(前年同期比3.6%減)となりました。

損益面では、営業活動の強化により販売費が増加し、細胞医療製品事業の推進のための研究開発費が増加したこと等により、営業損失は1,036百万円、経常損失は976百万円並びに親会社株主に帰属する四半期純損失は991百万円となりました。

③セグメント別の概況

(金額単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益計算書 計上額(注)2	
	細胞加工業		細胞医療製品事業			セグメント 損失(△)	売上高
	売上高	セグメント 損失(△)	売上高	セグメント 損失(△)			
当第2四半期 連結累計期間	893	△191	0	△512	△333	893	△1,036
前第2四半期 連結累計期間	919	△192	7	△235	△311	926	△739

(注)1. セグメント損失(△)の調整額は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

〔細胞加工業〕

売上高は、細胞培養加工施設の設置・運営管理業務の受託や細胞加工の技術開発の受託等、バリューチェーン事業の案件は著しく増加した一方で、医療機関に対する免疫細胞療法総合サービスの売上が前年同期に比べ微減となったことから893百万円となり前年同期に対して25百万円減少しました。セグメント損失は、売上原価は減少したものの、営業強化のための人員再配置による販売費の増加により191百万円となりました。

〔細胞医療製品事業〕

細胞医療製品につながるシーズ探索、技術の改良、知的財産の権利確保等による研究開発投資により、セグメント損失は512百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増減額
資産合計(百万円)	7,646	6,907	△738
負債合計(百万円)	1,715	1,744	29
純資産合計(百万円)	5,931	5,162	△768
自己資本比率(%)	77.0	74.1	—
1株当たり純資産(円)	63.51	55.22	△8.29

資産合計は、前連結会計年度末に比べて738百万円減少しました。主な増加は、投資有価証券276百万円、主な減少は、現金及び預金458百万円、有価証券200百万円、長期貸付金159百万円です。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて29百万円増加しました。未払金等の流動負債が45百万円減少し、繰延税金負債等の固定負債が74百万円増加しました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて768百万円減少しました。株主資本が991百万円減少し、その他有価証券評価差額金が223百万円増加しました。株主資本のうち、利益剰余金が8,162百万円増加し、資本金が963百万円および資本剰余金が8,191百万円それぞれ減少しました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の77.0%から74.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて658百万円減少し、2,935百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって使用した資金は851百万円(前年同期は410百万円の使用)となりました。

主な増加要因は減価償却費154百万円であり、主な減少要因は税金等調整前四半期純損失987百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって獲得した資金は221百万円(前年同期は6百万円の使用)となりました。

主な内訳は長期貸付金の回収による収入231百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用した資金は28百万円(前年同期は471百万円の獲得)となりました。

主な内訳は、リース債務の返済による支出28百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想は平成28年11月8日に公表した数値に変更はありません。連結業績予想の修正については、連結業績に影響を与える見積りや将来予測等を含め、修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、連結業績予想をセグメント別に表すと以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結予想額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療 製品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,247	3	2,250	—	2,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,247	3	2,250	—	2,250
セグメント損失(△)	△327	△910	△1,237	△730	△1,967

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△730百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、連結業績予想の営業損失と調整を行っております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,494,270	2,035,649
売掛金	358,674	331,994
有価証券	1,100,000	900,000
原材料及び貯蔵品	60,414	52,184
その他	298,382	306,241
流動資産合計	4,311,742	3,626,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,204,222	1,124,752
その他(純額)	265,564	253,619
有形固定資産合計	1,469,787	1,378,372
無形固定資産		
無形固定資産	265,199	226,935
投資その他の資産		
投資有価証券	432,917	709,210
長期貸付金	1,186,951	1,027,550
長期前払費用	403,074	359,674
貸倒引当金	△580,000	△578,750
その他	156,905	158,561
投資その他の資産合計	1,599,850	1,676,246
固定資産合計	3,334,836	3,281,554
資産合計	7,646,578	6,907,625
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	97,894	87,823
短期借入金	800,000	800,000
未払法人税等	34,789	16,107
賞与引当金	81,437	81,612
資産除去債務	—	5,325
その他	231,846	209,494
流動負債合計	1,245,968	1,200,364
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	75,000	75,000
資産除去債務	210,410	207,469
その他	184,118	262,008
固定負債合計	469,528	544,478
負債合計	1,715,496	1,744,842
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,778,593	5,815,470
資本剰余金	8,191,153	—
利益剰余金	△9,154,581	△992,034
株主資本合計	5,815,165	4,823,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71,004	294,435
その他の包括利益累計額合計	71,004	294,435
新株予約権	44,911	44,911
純資産合計	5,931,081	5,162,782
負債純資産合計	7,646,578	6,907,625

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	926,955	893,792
売上原価	529,328	497,839
売上総利益	397,627	395,953
販売費及び一般管理費	1,137,429	1,432,692
営業損失(△)	△739,802	△1,036,738
営業外収益		
受取利息	21,614	14,176
為替差益	—	79,215
投資事業組合運用益	6,721	—
設備賃貸料	3,771	3,771
その他	1,940	4,168
営業外収益合計	34,047	101,331
営業外費用		
支払利息	6,375	5,158
為替差損	62,497	—
投資事業組合運用損	—	33,080
社債発行費	758	—
設備賃貸費用	3,248	3,000
営業外費用合計	72,880	41,239
経常損失(△)	△778,635	△976,646
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1,250
特別利益	—	1,250
特別損失		
固定資産除却損	464	238
減損損失	1,594	9,830
投資有価証券評価損	3,733	1,999
関係会社清算損	3,318	—
特別損失合計	9,110	12,068
税金等調整前四半期純損失(△)	△787,745	△987,464
法人税、住民税及び事業税	5,582	5,458
法人税等調整額	△2,151	△1,194
法人税等合計	3,431	4,264
四半期純損失(△)	△791,176	△991,729
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△791,176	△991,729

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
四半期純損失(△)	△791,176	△991,729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110,498	223,430
その他の包括利益合計	110,498	223,430
四半期包括利益	△680,678	△768,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△680,678	△768,298
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△787,745	△987,464
減価償却費	175,785	154,052
減損損失	1,594	9,830
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,377	175
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△1,250
受取利息及び受取配当金	△22,701	△14,176
支払利息	6,375	5,158
投資有価証券評価損益(△は益)	3,733	1,999
投資事業組合運用損益(△は益)	△6,721	33,080
関係会社清算損益(△は益)	3,318	—
為替差損益(△は益)	58,240	△71,780
有形固定資産除却損	464	238
社債発行費	758	—
売上債権の増減額(△は増加)	△23,397	26,680
たな卸資産の増減額(△は増加)	28,803	14,186
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,702	△10,070
未払金の増減額(△は減少)	△35,947	8,459
未払又は未収消費税等の増減額	135,218	△28,346
その他	69,762	20,457
小計	△406,537	△838,767
利息及び配当金の受取額	12,573	3,180
利息の支払額	△6,319	△5,126
法人税等の支払額	△10,689	△10,904
営業活動によるキャッシュ・フロー	△410,973	△851,618
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9,237	△1,388
無形固定資産の取得による支出	△28,943	△14,460
関係会社の整理による収入	26,681	—
短期貸付金の純増減額(△は増加)	6,000	6,000
長期貸付金の回収による収入	144	231,324
長期貸付けによる支出	△1,500	—
その他	99	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,755	221,414
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権付社債の発行による収入	490,577	—
新株予約権の発行による収入	11,490	—
リース債務の返済による支出	△30,308	△28,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	471,758	△28,417
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	54,029	△658,620
現金及び現金同等物の期首残高	3,811,801	3,594,270
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,865,830	2,935,649

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年12月21日開催第21回定時株主総会の決議に基づき、平成29年1月31日付けで繰越利益剰余金の欠損填補を行いました

この結果、資本金が963,123,061円、資本剰余金が8,191,153,475円減少し、利益剰余金が9,154,276,536円増加しております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	919,357	7,598	926,955	—	926,955
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	919,357	7,598	926,955	—	926,955
セグメント損失(△)	△192,386	△235,484	△427,871	△311,931	△739,802

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△311,931千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	細胞医療製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	893,780	11	893,792	—	893,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	893,780	11	893,792	—	893,792
セグメント損失(△)	△191,252	△512,203	△703,456	△333,282	△1,036,738

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△333,282千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。